

講演会にご参加いただいた皆様からいただいた感想を一部ご紹介します。

※個人情報保護のため、一部文面を調整しています。

<p>地元で育ち地元の臨床で働く者として、ちゃんと地元に向き合って看護を考えているのか？と自問自答しながら先生のお話を聞かせてもらった。現状にも目を向け、先々のことも考えて何が出来るのか、出来ているのかを考えていかなければならないと思った。</p>	看護師
<p>看護職が一人の市民として地元へ愛をもって参加することの意味づけができました。企画していただき、内布学長はじめ実行委員の皆さんに感謝です。</p>	大学教員
<p>地元が田舎なので地方創生看護にとっても興味があり参加しました。将来はまだわかりませんが、地元へ看護職として貢献したいという意欲向上に繋がりました。ありがとうございました。</p>	学生
<p>「地元」という考え方の大切さ、アカデミックな世界で生きる上でも大切になる「現場」からのというところが「地元」ということにはなるのではないかなと思いました。ありがとうございました。</p>	看護師
<p>素晴らしい講演でした。地元を教員が知ること、学生が知ることによって地元創成の足掛かりになる。看護、医療は地元へ暮らす人の背景を知ってこそだと改めて思いました。よい講演会を企画して下さい。学長先生を始め会のメンバーに感謝しています。</p>	大学教員
<p>本日の講演を聞いて、地域の事情に詳しく看護職の中にそこそこのネットワークを持っているということは強みかもしれないと元気が出ました。臨床を長く経験していたせいか教育の現場にある「枠にはめる」空気感には違和感を感じることも多いのですが、もっと学生の力を信じてという言葉には特に同意しました。今後のつながりや発次世代看護あり方研究会の活動にも興味があります。</p>	大学教員
<p>学生の視点からより積極的に意見を伝えたり、実践する事が地元をより良くすることに繋がると学ぶことができた。</p>	学生
<p>南先生のお話、とても興味深い内容でした。このテーマは少子化が進むこれからの大きなテーマになると思います。</p>	大学教員
<p>本校では、フィールドワークを行い、地域住民の災害意識について調査することだったり、住民の生活環境や地域の中のコミュニティを知ることができる科目があり、実習にいったとき、患者を捉えるのに役立っていると思います。質疑応答の際に、卒業後地元に残る人は少ないとありましたが、田舎に住んできた若者は1度都会に出たいと思うことが多いと思います。しかし、私の周りには都会を経験してから地元に戻ってくる人もちよくちよくいるなど感じています。それは多分、地元のよさや課題を理解していることで、地元を活性化させたい思いがあるからで、地元以外から得てきたそれぞれの知識や視点を地元へ還元していくことにつながっているのだと思います。</p>	学生

<p>敦賀で南先生にお会いできるとは思っていませんでした。貴重な機会をいただきありがとうございます。地元には愛着があると思っているつもりでも知らないこともたくさんあるのではないかと考えてきて、アンテナを高くして行きたいと思います。</p>	<p>看護師</p>
<p>住み慣れた地域で最期まで自分らしく生活できることは、人々の心の支えであると思います。地元にいるからこそ知っていること、気づきを強味として、主体的・自律的・継続的に協働することは看護の根底にあると思います。その地域の特徴を活かした看護は、人々の安寧に繋がるということが、今回の講演を拝聴してさらに感じました。ありがとうございました。</p>	<p>大学教員</p>
<p>地元について深く知ることが看護を行うにあたって大切だとわかりました。</p>	<p>学生</p>
<p>学問としての地域創生の考え方をご教示いただける、大変、有意義な時間でした。久しぶりに南先生のクリエイティブ的な時間軸に巻き込んでいただけた幸せな時間でした。ありがとうございました。また、このような企画に参加の機会をくださいました内布先生にお礼申し上げます。</p>	<p>看護師</p>
<p>地元という概念を基に関心を寄せることの重要性を改めて感じました。</p>	<p>大学教員</p>
<p>南先生が「教員も地元への意識を持つ」という話をされてハッとしました。学生には地元に残るように(主に就職)とは言いつつも、地元に残るメリットや課題等を具体的に言えないことにもどかしさを感じていたのですが、今回のご講演を聞いて教員自身が地元への関心を持つことから始めなければならないと改めて感じました。貴重なご講演をいただきありがとうございます。</p>	<p>大学教員</p>
<p>Uターンで地元に戻ってきた人も地元への愛着心があり、その人たちが活躍できる環境を作ることも重要と思います。</p>	<p>大学教員</p>
<p>看護における学術・教育は、地元という枠組みで行っていく必要があることを再認識しました。</p>	<p>大学教員</p>
<p>一般行政職員ですが、大学生に向けて地域のことを知ってもらう講座を提供する仕事をしています。今回の講義は、その在り方を改めて考える素晴らしいものでした。これまでは地域のことを知ってもらうということをメインで考えていましたが、学生たちに地域を地元と思ってもらえるように、学生を信じて、という考え方が大変勉強になりました。</p>	<p>行政職</p>
<p>「地元創成看護という考え方」に対して愛を感じました。仕事に対する愛、看護に対する愛、地元に対する愛、学生に対する愛、とても重要なことですね。基本的なことを再認識することができました。講演を聞かせていただき看護や教育に対するモチベーションが向上し、何かしてみたい、行動を起こしてみたいという感覚にとられました。ありがとうございました。</p>	

南先生のご講演、よく理解できました。学生さんの4年間、充実した時間にしてあげられるようにがんばりたいと思いました。4年間は「地元」ですし、その経験が次の「地元意識」にもつながると思います。	大学教員
地元に着愛を持ってもらうということが大切ということ学びました。私も地元と連携できるように自分のできることを始めていきたいと思いました。貴重なご講演をありがとうございました。	大学教員
学生の力を信じることという言葉が印象に残りました。たくさんの方を考えて実践している人はずなのに、現状に満足することがなく、常に真摯に物事に向き合うような方なのだなと感じました。貴重なお話ありがとうございました。	学生
貴重なご講演を拝聴させていただきありがとうございました。入庁して以来現在まで長く生まれ育った町で保健師として従事してきました。その中で、町民とともに健康づくりに取り組み、庁内外の関係機関と連携し健康危機等にも臨んできました。様々な活動は、担当者はもとより、担当課や町だけではできないことが本当に多く、多くの方の力をお借りして取り組んできたことを改めて振り返り、そんな中で仕事ができることを感謝する時間となりました。今、私の町では、町民が自分の町を自分たちの力を発揮して住みよいものとしていこうという動きが、あちこちで見られることを誇りに思い、その中で役場職員として看護職として何ができるのかを改めて考える大変貴重な時間でした。改めて、南先生に感謝申し上げるとともに、この講演を企画運営された大学関係者の皆様に感謝いたします。	保健師
本学でも地元創成看護に関する実習があるため、この実習の起こりから学ぶことができたいへん勉強になりました。地元創成看護の意味を理解した上で、学生にはどのように学びの場をつくっていくか、あらためて考えていきたいと思います。	大学教員
まず先に南先生の講義を直接に聞く事ができたこと、感激です。感謝します。島嶼看護に関わった経験があり、まず島を知る・島から学ぶ、共有するなどなど、さらに生活者の一人として地域の取り組みに参加する。さらに島の文化風習などを看護実践に取り組んできました。未だまだ不足の部分がありますが、先生の地域創生看護という考えに同感、感激しました。ありがといございました。	看護師
私の高校では学校の授業で「地域とSDGs」というテーマで地域の問題解決に取り組んでいました。地域の名産の果物を使った焼肉のタレを開発して地域に販売したり、市のパートナーシップ制度の導入を数年かけて行なってきました。講演を聞いて、大学でも自分たちで地元の課題を見つけ、行動してみたいと思いました。その行動が地元愛に繋がるのだと分かりました。	学生
地元に着す本来の姿を考えさせられました。	看護師

<p>年をとるにつれ、地域の社会活動の大切さや人材不足を実感しています。看護を学ぶ学生は、社会を作る人財の一人として自覚できるような教育のありかたも改めて再認識しました。南先生のお元気な姿も拝見でき、うれしかったです。</p>	<p>大学教員</p>
<p>学部の際にバイトで自分が住んでいた地域の高齢者の方々の体力測定に参加した際に、地域に住んでいるのに関わってこなかった人達と関わることができ、地域の人から是非このまま残ってと言ってもらえ、とても仲良くなることができ、その地域に愛着が湧きました。このことを先生の講義を受けて思い出し、地域に愛着を持つということはその地域の人達と顔見知りになる、つながるということだなということを思いました。地域の人と関わることができたのが最終学年だったのがとても残念でした。その前の時期に関われる機会を授業として持てば、より地域に密着し、地域に関心を持ち、地域に愛着を持って過ごせたと思いました。素敵なためになる講義をありがとうございました。</p>	<p>学生</p>
<p>講演を聞いてこれからの看護の方向性が明確になったように思います。敦賀に限らずどの地方都市にとっても応用できる内容の講演でした。ありがとうございました。</p>	<p>大学教員</p>
<p>わたしが関わっている自殺対策においても、同じ県内や市内でも自殺の実態は異なるので、当然ながら対策にも細やかな配慮が求められます。看護職が多職種、地元住民と連携し、ひとりひとりが主役になり、誰も取り残されない、顔の見える緩やかな人のささえあいができる社会を目指したいという思いをより強くしました。ありがとうございました。</p>	<p>行政職</p>
<p>南先生の貴重な講演をオンラインという形式でお聴きすることができて大変よかったです。地域創成看護について理解を深めることができました。ありがとうございました。</p>	<p>大学教員</p>
<p>学生さんたちが主体的な活動をされていることがとても印象的でした。そのように学生の何かやりたいというような気持ちを育てたり、支援できたりということが地元愛にもつながっていくのだと改めて感じました。</p>	<p>大学教員</p>